

61 巻 10 月・増刊号(61 巻 10 号)予告

呼吸機能検査 Basic & Practice

●定価：本体 5,000 円＋税

2017 年より、「臨床検査」は、年に 2 回、臨床検査技師の皆さんに役立つ内容をまとめた増刊号を発行しています。そんな秋の増刊号は、「呼吸機能検査 Basic & Practice」をお送りします！

呼吸機能や血液ガス・酸塩基を理解するためには、難解な数式や化学・物理法則、呼吸生理学を組み合わせた知識が必要になります。また、各種の検査も、患者への検査説明や検査中の誘導の仕方によって、正確な検査結果が得られるかどうかが大きく影響します。

本号は、そんな呼吸機能検査の基礎(Basic)と実践(Practice)を丁寧に解説。呼吸機能検査に配属されて間もない方から、ベテランの方の知識の確認まで、幅広く役立つ 1 冊です！

Part1

呼吸機能の基礎をマスターしよう！

まずは、ここから。“呼吸生理のメカニズム”と“呼吸に関する記号・専門用語・計算式・法則”のポイントをおさえましょう。

Part2

臨床に「直結」する検査の進め方

各種検査のコツをレクチャー。スパイロメトリー検査、呼気 NO 検査、血液ガス分析などの呼吸分野の各種検査の原理を学び、正常像・異常像の現れ方をおさえましょう。

Part3

フィジカルサイン&病態で読み解く呼吸器疾患

呼吸器分野の主要疾患の症例集。呼吸器検査は、それ特有の検査の結果だけでなく、フィジカルサインや病態と併せて考えることが大切。こうした検査の進め方のコンセプトを身につけてください。